

6月25日正午必着

明石春浦先生書



草根已定春來意。梅蕊猶含臘後寒（彭汝礪）

草の根はまさに萌え出でんとして青みがかっているが、梅の蕾はまだ堅い。

明石幸子書



露華臨夜白（范景文）

草木に宿る露は夜になって白く光る。



花開萬入集 花盡一人無 但見雙黃鳥 綠陰深處呼 (廣瀬旭莊)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

欲不_レ可_レ從 (禮記)

欲は從_レにすべからず

自己の私欲はおさえつけねばならない。

獨坐敬亭山

獨り敬亭山に坐す

李白

衆鳥高飛盡 孤雲獨去閒
相看兩不厭 只有敬亭山 (李白)

衆鳥高く飛び尽くし 孤雲獨り去って閑かななり
相見て兩ながら厭わざるは 只だ敬亭山有るのみ

岳州逢_二司空曙_一 (李端)

岳州にして司空曙に逢う 李端

共有_二髻年故_一 相逢萬里餘
新春兩行淚 故國一封書
夏口帆初落 涔陽雁正疎
唯應_下執_二杯酒_一 暫食_中漢江魚_上

共に髻年の故有り 相逢う 萬里余
新春 兩行の涙 故國 一封の書
夏口 帆初めて落つ 涔陽 雁正に疎なり
唯だ応に杯酒を執り 暫く漢江の魚を食すべし

物思ふ_{あし} 葦にしあればゆく雲の高きに舞はむ 心をわが持つ (太田 青丘)

半紙部規定課題A

6月25日正午必着

葉 偶
老 衣
荷

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

6月25日正午必着

行書



隸書

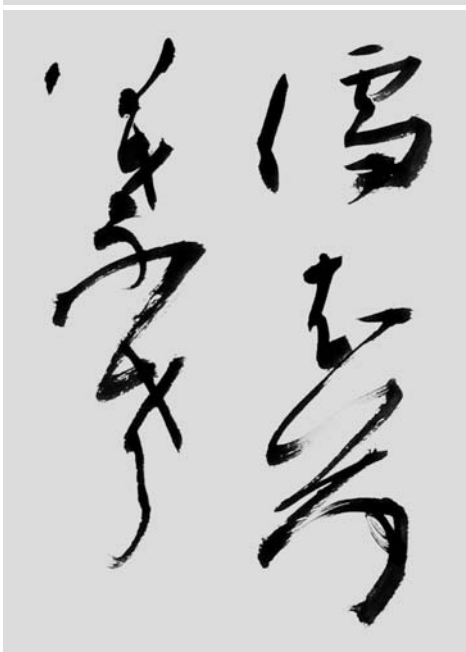


明石春浦先生書

草書



行草書



まったく羨ましい、君は身の雑事にわずらわされることなく 日々に、世俗のおもいから遠ざかっていられるのだから
辺鄙なところに住んでいるので、人はめったにやってくる来ないし 谷間の奥深きところ、鳥はおのがじし飛びめぐる
蓮の葉の老いたるをとって儒服とし 葉草の苗の肥えたのをとって、粗末な食事をされる
もしも湖のほとりに隠棲するつもりがあるのかとおたずねならば いまも共に帰隠しようとする思いを忘れてはいない
(と答えましよう)

寄「邪逸人」

鄭常

羨君無外事

日與世情違

地僻人難到

溪深鳥自飛

儒衣荷葉老

野飯藥苗肥

若問湖邊意

而今憶共歸

邪逸人に寄す

鄭常

羨む 君が外事無く

日に世情と違うことを

地僻にして 人到り難く

溪深くして 鳥自ら飛ぶ

儒衣 荷葉老い

野飯 藥苗肥ゆ

もしも湖辺の意を問わば

而今 共に帰らんことを憶う

維貞觀六年孟夏之月皇帝避暑
乎九成之宮此則隨之仁壽宮也冠
山抗殿絕壑為池跨水架楹分巖竦
踰水架楹分巖竦關高閣周建長廊

維貞觀六年孟夏之月皇帝避暑乎九成之宮此則隨之仁壽宮也冠山抗殿絕壑為池跨水架楹分巖竦關高閣周建長廊

着必正午25月6

皇帝避暑乎九成之宮此則隨之
仁壽宮也冠山抗殿絕壑為池跨
水架楹分巖竦閣高閣周建
皇帝 暑を九成の宮に避く。此れ則ち隋の仁壽宮なり。山に冠して殿を抗くし、壑を絶て池と為し、水に跨がりて楹を架し、巖を分ちて閣を竦かす。高閣 周りに建ち、

皇帝避暑乎九成之宮此則隨之
仁壽宮也冠山抗殿絕壑為池跨
水架楹分巖竦閣高閣周建

維貞觀
六年

維れ貞觀六年

歐陽詢・九成宮醴泉銘

高祖の子太宗が国政に着手し、諸制度を改革した唐代は、詩人の李白・杜甫・白楽天や、画の巧みな王維をはじめ、唐の四大家として賞揚される虞世南・歐陽詢・褚遂良・顔真卿など多くの文人や書家が輩出した。それは太宗自身が文物を興し、国力を高めていわれる「貞觀の治」と呼ばれる時代をつくり上げたことにもよる。又特に初唐においての書では、古来その類を見ない程の名家が輩出し、書道史上の黄金時代となったが、その法を重んじ、洗練された書が多数残っているのは、官吏の登用試験（科擧）の制定によるのもその理由の一つである。それはどんなにすぐれた書家であっても、楷法に習熟していなければ合格できないものであった。このような時代背景なのだから、楷書が多く見られたのも当然である。

歐陽詢は、幼少のころから聡明で、経書や史書を学び、隋時代には太常博士となり、唐になると高祖に抜擢されて要職についた。高祖の子太宗は、貞觀六年の夏、仁壽宮を修理し九成宮とし、避暑地の離宮としたが、宮殿の一隅に美しい泉が湧き出たため、これを記念して碑を建てた。これが九成宮醴泉銘である。歐陽詢の書では最も有名で、結構は背勢をとり、整齊で峻嚴、清潔感にあふれ完成した楷書の作品として尊ばれている。

— 幽棲墨濤人 —

6月25日正午必着

教育部毛筆

馬術

ば
馬

じゅつ
術

中学一年

雨宮春聲先生書

白鷺

しら
白

さぎ
鷺

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



めい
名

さん
産

小学五年

藤井良泰先生書



ろん
論

ぶん
文

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

6月25日正午必着



こん
金

じき
色

小学三年

細谷春誠先生書



でん
伝

き
記

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

あ さ 小学一年・幼年



あが る

小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

藤田幸春先生書

6月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

黒い雲が流れてはげ
しい夕だちとなった

小学五年

降り続いた雨がやん
で夏の空に変わった

小学六年

山の花も水に戯れる鳥
もみなよき友である

中学

湖面に波紋の跡を残し
ながら夕立ち雲が通る

一般(級位)

ほととぎす 眺かけて 鳴く聲を待たぬ寝さめの人や聞くらむ (藤原伊家)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

さ	き
し	い
ま	ろ
し	の
た	か
	さ
	を

幼 年

そ	せ
ら	い
に	ろ
か	の
か	に
	じ
た	が

小学一年

さ	つ
わ	ゆ
や	明
か	け
で	の
す	空
	が

小学二年

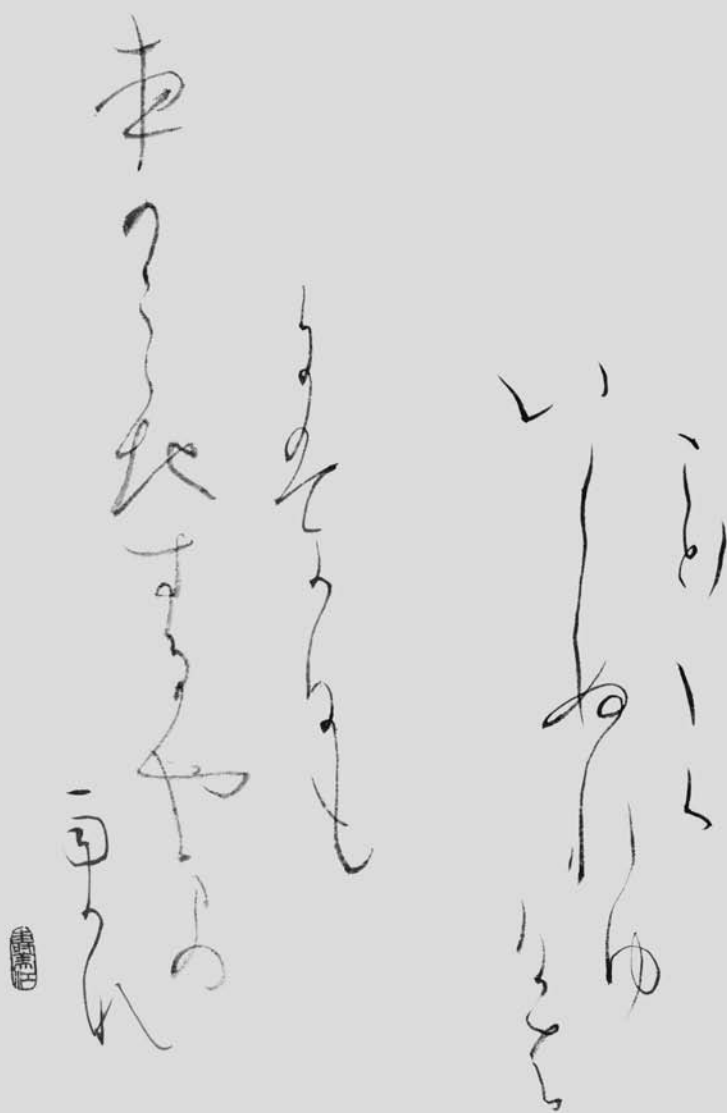
雲	空
に	は
お	
お	は
わ	い
れ	色
た	の

小学三年

ま	る
で	絵
の	よ
う	に
に	美
しい	ラ
ベン	ダー
畑	だ

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

ことごとく いしぬれゆけば
介者 にはかにも 夜のこちする やまの雨かな
尔盤可尔 地万可那
(与謝野晶子)